

行動規範

株式会社アイビーテック

1.法令と倫理の遵守

私たちは、業務のあらゆる場面で、法令・社内規程および行動規範を遵守いたします。

2.適切な広報活動

社会の一員であることの自覚を持ち、正確な情報を的確に発信・伝達し信頼に応えられるように努めます。

3.節度ある行動

節度を超えて接待・贈答は行いません。また、節度を超えた接待・贈答も受けません。また、社会人としてあるべき姿を常に意識し行動します。

4.人権を尊重します

一人ひとりの人権を尊重し、人種、皮膚の色、宗教、信条、性別、社会的身分、門地、障がい、性的指向などによる不当な差別やセクシャルハラスメント、パワーハラスメントなどの人権侵害行為をしてはなりません。また、そのような行為を助長し許容してはなりません。

相手に不快感を与えるような性的言動は一切行いません。職務上の権限を背景に、本来の業務の範疇を超えて、人格と尊厳を侵害する言動は一切行いません。私たちは人権問題を正しく理解・認識し、人権尊重の精神と人権感覚を養うことが必要です。

5.法令を遵守します

私たちは、時に自分の行動が法律に照らして正しいかどうかを省みることが必要です。たとえ愛社精神に基づく行為であっても、法律に違反することは、決して許されるものではありません。自分たちの行動が法律に違反しないか、事前によく確認することも大切です。

6.公正な商取引を行います

お客様、お取引先および競争会社への対応は、いかなる場合も公正でなければなりません。例えば、お客様に対しては、合理的な理由がないのに、差別的な対応をしてはいけませんし、お取引先に対しては、常に謙虚な姿勢で接することが必要です。また、競争会社に対しては、不正な手段を用いず、いかなる場合も公正な競争関係を保たなければなりません。競争会社との間で、価格、お取引先、それらについて話し合うことも、公正な競争関係を阻害し、法令違反とならないし法令違反となる虞れが大きいことを、常に念頭に置いて行動する必要があります。

7.知的財産を守り尊重します

株式会社アイビーテックは、お客様の期待に応えられるサービスを提供することにより、社会づくりに貢献しています。知的財産が、重要な経営資産として株式会社アイビーテックの事業活動を支えていること、そのことがお客様にパートナーとして安心していただけることになるのだということを、強く意識して行動することが必要です。

一人ひとりが持つ知識やノウハウそのものがビジネスに優位性を与え、強力な武器となるという理解を深めなければなりません。同時に、他社の知的財産を尊重し、正当な手続きを経て入手、利用しなければなりません。

8.機密を保持します

情報を適切に取り扱うことは、企業活動の基本であり、生命線でもあります。情報は、比較的単純な不注意で社外に漏れるおそれがあり、しかもいったん漏れると、被害が甚大となるばかりか、信用も失われます。したがって、私たちは情報の種類に応じて、取り扱いのルールを正しく理解し、そのルールを徹底して遵守するとともに、不注意により機密情報や個人情報が流出することのないよう常日頃からセキュリティを強く意識した行動をとらなければなりません。

①自社情報の取り扱い

私たちは、日常の業務を遂行するにあたって、さまざまな社内の情報にアクセスする機会があります。これら社内で流通している情報は、基本的に会社の秘密であり、しかるべき手続きを経ないで社外に開示することや、会社業務を遂行する目的以外で使用することはできません。

②お客様など第三者情報の取り扱い

私たちは、お取引先やお客様との契約に基づいて、秘密情報の開示・提供を受ける場合があります。このような第三者の秘密情報(他社秘密情報)は、情報の利用目的や管理の方法、期間など、契約ごとにさまざまな条件が課されていますので、契約上の守秘義務に違反しないよう、適切に取り扱わなければなりません。

③個人情報の取り扱い

私たちは、ビジネスを行う過程で、個人情報を収集・蓄積して、私たちの業務に役立てる場合もあります。このような個人情報を取扱う場合には、適切に管理・利用しなければなりません。正当な理由なく家族を含め第三者に漏洩したり、外部に持ち出すなど「守秘義務」に違反する行為は在職中・退職後を問わず一切行いません。

9.業務上の立場を私的には利用しません

企業における自分の立場や会社の情報を利用して、または企業における自分の任務に背いて、自分自身や自分の関係する人のために利益を図ってはなりません。

制定日:平成 30 年 2 月 1 日